

足立健康友の会

かばら支部ニュース

第112号

2017年11月17日
電話3605-5594
<http://kabara-tomon.okai.kenwa.or.jp/>
mail:kabarashibu@yahoo.co.jp

蒲原健康まつり 台風にも負けず

南京玉すだれ・フラダンス

シャンソン・コーラスを楽しむ

朗読劇安倍首相の「非公開記者会見」

連日の雨模様につき、非常に強い台風22号が接近中と言う天気予報の中、開催が危ぶまれましたが、第31回蒲原健康まつりが10月22日(日)開催されました。



当日は天気予報通りで、朝からの雨天でしたが、蒲原診療所グループの職員・友の会かばら支部のみなさん・地域の方々のご協力により無事開催することができました。

「階診療所待合室の中央舞台では、尾崎哲也実行委員長（みさと健和歯科所長）による開会挨拶ではじまり、演芸が披露されました。おなじみ桜遊会の銭太鼓、南京玉簾の大道芸から、流麗なフラダンスの踊り、聞きほれるようなシャンソン、息の合ったコーラスなどが続きます。みなさんの常日頃の稽古振りがうかがえる明るく楽しい舞台上がっていました。中央舞台の最後は職員劇「水戸黄門」の



脚本でおなじみの嶺岸宏さん脚本の朗読劇「非公開記者会見」が上演、安倍首相の危険な本音を語る風刺の効いた内容で、会場を沸かせました。

外の駐車場では、各事業所・友の会・地域の諸団体などによる模擬店が開店。テントぼりの下とはいえ冷たい雨が降り続く中となりましたが、焼きそばやお好み焼き、すいとん、もつ煮込み、おはぎなどの食べ物ほぼ完売。東京土建足立支部綾瀬分会有志のみなさんによる包丁研ぎも、雨にも関わらず90本を研ぎ上げました。



強い雨が降り続く健康まつりで

最悪の天候でしたが、約250名の参加で成功させることができました（主催者発表）。

懸念された事故や怪我人を出すことなく、無事に終えることができたのは、準備の段階から奮闘した職員・友の会・地域の方々の協力

のたまものです。ご参加・ご協力いただいたみなさま、ありがとうございます。来年は好天のもとでの健康まつりを祈らずにはいられません。

報告 蒲原診療所
事務長 若松弘正

9条改憲は嫌です 11・3国会前に集う

私たちはかばら支部は「9条を変えない」の声を国会に届けようと、綾瀬駅で待ち合わせして、国会前の公園に行きました。

かばら支部からの参加は役員と会員約10数人でした。（会場への来場者は主催者発表の4万人）



気持ちばかりは、集会後に

集会前半で音楽家による反戦・平和の歌の演奏が続き、参加者による「改憲反対」「憲法を生かせ」「9条こわすな」などのコールが国会周辺にこだましました。その後、立憲民主党、共産党など政党代表、各界の著名人のスピーチと続きました。みなさんの訴えと話は真剣で「絶対に戦争する国にしたいくない」「人と人との殺し合いだけは避けなければならない」と言う

者みんなで唱和したコールは「改憲止めよう、みんなで止めよう。あきらめないでがんばるぞ」でした。

「改憲＝戦争ができる国へ変わること」です。国会で改憲発議に必要な議席は与党で3分の2を越えます。しかし国民の世論で今まで通りの「戦争をしない日本」は続けられます。「止めよう戦争する国」の運動を地域の隅々から繰り広げていく気持ちを新たにしたい国会包囲行動でした。

報告 嶺岸 宏

友の会の拡大月間 12月末まで 健康講座参加者 6名入会

全国の民主医療機関（民医連）の職場で患者（利用者）と共同で仲間増やしを行っている。

友の会かばら支部でも皆さんの要望ををテーマに15回目の健康講座を開催しました。蒲原診療所近隣を対象に一般の新聞に開催のお知らせを折り込みを行い、第1課の「筋力を付ける」には70名

の方が参加しました。その中に新聞のチラシや地域に貼りましたポスター等を見て患者さんでない方が11名参加しました。多くの方が2課・3課にも参加し、6名の方が友の会に入会して下さいました。

●友の会に入会された事例

◆9月28日の玄関の友の会コーナーで顔見知りの方と急



な国会解散の話や健康の話題に花が咲き「コーラス」をやりたいと要望が

出され友の会の歌声サークル「こもれば」を紹介して友の会にも入会して頂きました。

◆10月26日の友の会コーナーに立ったのは田中さんと大沢さんの二人組み。受付の職員に「今日コーナーを担当します」と一言伝えて活動を開始しました。

しばらくして和久井看護師長が二人の役員がコーナーに立っていることを見て来院した患者さんに「友の会に入っていますか」と声をかけました。

た。その方は玄関ホールの方の会コーナーに来て、入会申し込みを書いてくれました。

◆10月31日の歯科の受付担当は佐藤事務長でした。受付で話した患者さんが「友の会の話」をして来たので入会のお誘いをしました。「セツルの友の会に入っているけど、歯医者さんにも入る」と言うことで、さっそく入会することになりました。

◆快挙・二十才男性の入会60歳台の前半の人でも

私の故郷「東京大空襲の記憶」その4

昭和25年3月に伊興小学校を卒業して、14中に入学しました。当時は舍人、入谷、竹ノ塚、保木間からも自転車通学する人もいました。私の家は14中の直ぐ近くにあり、忘れ物があると休み時間に取りに行くことができませんでした。28年3月に中学を卒業して亀戸にいった第二精工舎に就職し、腕時計を作る仕事をしました。亀戸の職場までは東武電車で通いました。

昭和36年4月に結婚しました。そして行徳の主人の実家に入りました。2ヵ月後に行



徳から 足立にもどり 千住曙 町で暮らしました。そこで

男の子が三人生まれにぎやかな毎日を過ごしました。昭和49年に辰沼に引越してきました。

辰沼に越す前、30年ごろにも職場の友達が「大谷田に住んでいて訪れた記憶があります。飯塚橋のたもとの手元に立派な桜並木がずーと遠くまで続いている光景は忘れられませ

おわり 担当 藤村 節子

歯周病安定期治療(SPT)

蒲原歯科診療所 事務長 佐藤 祐二

SPTとはサポートイブペリオドンタルセラピーの略で今後の歯周病治療のカギはSPTだといわれています。

SPTとは歯周病安定期治療のこととで、病状安定となった歯周組織を維持するために行う定期的な治療です。治療した歯周組織を長期間維持するための健康管理と定義されているメインテナンスとの大きな違いは「治療」か「健康管理」かの違いです。

「まだ友の会に入る歳じゃない」と言う人が多くいます。そんな中、10月24日受診した人で平成9年生まれの方が入

会しました。役員さんはみんな驚き、うれしさを隠しませんでした。周りの人を誘って下さい。



ト内が清潔な状態になります。長期継続的にSPTを行うことで良好な状態を維持することが可能です。

蒲原歯科診療所では、SPTを1か月または3か月毎に定期的に行っています。

歯周病の治療において良好な結果を得るには、歯周病や治療について患者さんによく理解していただくことが大切です。その上で適切な治療計画を立て、計画の内容について患者さんの同意を得てから、計画に沿って治療を進めていきます。SPTの目的は歯周病の再発を防止すること、進行を最小限に食い止め、歯の喪失を予防・減少させるために行うものです。